

交通遺児育英会機関紙

©平成18年1月1日発行
発行・財団法人交通遺児育英会
〒102- 東京都千代田区平河町2-6-1
0093 (電話) 0 3 (3 5 5 6) 0 7 7 1
(H P) http://www.kotsujiji.com

君とつばさ



理事会、17年度上期事業報告を承認

財団法人交通遺児育英会の17年度上期事業報告と収支決算報告が昨年11月30日に開かれた臨時理事会で承認された。9月に関西学生寮が開設されるなど、新長期事業計画に沿った事業が積極的に推進された。

関西に学生寮開設

新長期事業計画、着実に推進

1. 奨学生の採用
高校から大学院までの新規採用者は566人で、前年に比べ45人減。専修学校で25人増えたものの、高校で52人、大学で18人減少したのが要因。2年生以上の継続採用者も、高校卒業業者数が在学者数に比べ多かったため63人減。この結果、貸与者の合計は108人減って1787人となり、奨学金の貸与総額も約2100万円減少した。



は静岡県と東北3県(秋田山形、岩手)で実施した。参加率は静岡県23・8%、東北3県44・4%だった。2年目の海外語学研修は前年度のイギリスに加え、エイ・エフ・エス日本協会

あしながおじさんのお便り

交通遺児の皆さま方、それぞれのお立場で一生懸命ご活躍のこと存じます。先般、急に父を失ってしまった孫娘が、国際的なある大会で、師も持たず自力で優勝を成し遂げました。親のいない子どもの努力と忍耐の成果を目の前に、少しづりにうれし涙を味わいました。

父失いながらも孫娘が快挙

最近、交通事故が多発しています。父を失った人の子どもの手助けが、少しでもできたらと思ひ、支援させていただきます。

ますます寒くなります。風邪をひかないようお体に気を付け、前向きに生きていきます。遺児の皆さまに力を入れてください。

あしながおじさん募集中
(横濱 E・Nさん)
(東京 H・Tさん)

入寮第1号は専門学校生

関西学生寮、名実ともにスタート
昨年9月に開設した関西学生寮に入寮第1号が誕生。名実ともに関西の学生寮がスタートした。

入寮したのは、大阪府東淀川区豊新のドミトリイ上新庄。入居したのは、大阪リノイト&スポーツ専門学校

海外語学研修3期生募集
3面
記入し、押印のうえ本会まで返送してください。その手続きをすれば、2年生に進級したとき、奨学金の運用を任せさせていただきます。

あしながおじさん Q&A

卒業・進級時、借りた奨学金の手続きは

Q いま高校3年生で、もうすぐ卒業する人は、借りた奨学金の返還手続きはどうすればいいのですか。
A 3年間に借りました奨学金の借用証書を12月に送付していただきます。必要事項を記入し、収入印紙を貼って、押印して、期日までに本会奨学課へ提出してください。



新春の空に飛び立つオオハクチョウ(北海道・浦臼町で)
=写真家・田村允人氏撮影

奨学生募集中

奨学生募集
奨学金の滞納状況を正確に、迅速に把握するため、個人別のデータが即座に取り出せるシステム開発を行うこととし、6月に着手した。今年度中に完成させ、18年度から稼働させる予定。

大風呂敷を広げる、という。広辞苑には「実際にできそうにないことを言ったり、計画したりする。大言壮語することある」▼司馬遼太郎の『龍馬がゆく』によると、明治維新の主役の一人、坂本龍馬は、早くから「世に坂本龍馬があるかぎり、徳川幕府は無事ではない」と言っていたという。土佐を脱藩、浪士の身の発言だから、周囲の者は「また始まった」という思いで見ているたかもしれない▼しかし、現実に薩長を連合させ、大政を奉還させて、無血で幕府を倒した。司馬は、あとがきで「龍馬がいなかったら、事態の模様はちがったものになっていただろう」と書いています。同じ倒幕をなしたとしても、武力によったらうというのである▼「西洋には、ロウ(法律)というものがあって、国家の運営をそれで行っている」▼アメリカでは大統領が下女の給料の心配をする」とも言っていたというから、幕府を倒したあととはそういう社会の実現に打ち込むつもりであったかもしれない▼よく大風呂敷と言われたのは、関東大震災直後の内務大臣後藤新平。東京の復興計画を立案したとき、当時の人たちの度肝を抜く道路計画を発表した。財界の反対で縮小されたが、靖国通り、山手通りなど、いまの幹線網の主要部分は、後藤に負っているといってもいい▼この二人、龍馬と後藤に共通するのは、1000年先を見据えるという視点だろう。新年、ひとつ大風呂敷を広げてみるか。

語学研修3期生を募集

今夏、英国など4カ国へ36人



外国の生徒と机を並べて学ぶ2期生

オーストラリアコース新設

交通遺児育英会は、高校奨学生に国際的な視野と感覚を身に付けてもらうと海外語学研修を実施しているが、こし夏休みに派遣する3期生を2月末まで募集する。

派遣するのはイギリス、カナダ、タイに、新たにオーストラリアを加えた4カ国。いずれもホームステイしながら現地の高校などに通い、授業や行事を通じて世界の若者と交流する。

イギリスコースは7月23日出発、8月14日帰国の23日間。募集人員は30人。派遣先は、昨年と同じロンドン

の西約145キロのソールズベリー。中世の雰囲気が残る街で、イギリスでも伝統的な都市。

ホームステイしながらソールズベリー・スクール・オブ・イングリッシュに通学。午前中は教室で英語研修、午後はスポーツなどのアクティビティ(課外活動)を通じて世界中から来ている同年代の若者と交流。異文化に触れる。土、日曜日には周辺観光地への

エクスカージョン(日帰り旅行)もある。カナダ、タイ、オーストラリアコースは、高校生の交換留学など異文化交流事業を行っているエイ・エフ・エス(AFS)日本協会に委託して行う(日程は予定)。

カナダコースは7月29日出発、8月27日帰国の30日間。募集人員は2人。プリティッシュコロンビア州などに派遣され、世界各国からのAFS生と一緒に施設見学、パーティなど行事に参加して交流を深める。

2月末まで応募受け付け

応募資格は、現在、高校1、2年生(1988年4月以降の生まれ)で、心身ともに海外留学に適応でき、異文化体験、外国語習得に興味がある人。

カナダ、オーストラリアの受け入れ家庭はほとんどがペットを飼っているため、動物アレルギーのある人は困難。タイは、アクセサリの着用や男子の長髪禁止などの制約がある。派遣費用はすべて本会が負担するが、参加者は帰国後、レポートを提出しなければならぬ。

参加希望者は希望国名を明記(カナダ、タイ、オーストラリア希望者は第2希望も)のうえ、「海外語学研修応募の動機」を作文(800字)にして、〒102-0093東京都千代田区平河町2-6-1、財団法人交通遺児育英会「語学研修係」へ。締め切りは2月28日。作文審査で派遣候補者を選び、春休みに2次面接を行う正式決定する。

望も)のうえ、「海外語学研修応募の動機」を作文(800字)にして、〒102-0093東京都千代田区平河町2-6-1、財団法人交通遺児育英会「語学研修係」へ。締め切りは2月28日。作文審査で派遣候補者を選び、春休みに2次面接を行う正式決定する。

地域と一体、チビっ子の歓声



心塾恒例のもちつき大会

27回目となった心塾恒例のもちつき大会が昨年12月4日、塾の前庭で行われた。いまや地域の行事としてすっかり定着、この日も400人以上の人たちが足を運んだ。

午前10時。140キロのもち米を、子どもからお父さんまで掛け声も高らかに次々とついていく。その場で塾生らがいそいそもち、あんなもち、きんもち、ぜんざいもちに仕上げると、あちこちで「おいしい!」の声。豚汁、焼きそばコーナーも長い行列ができるほどの好評だった。

チビっ子に人気だったのが、ボールをぶつけて賞品をゲットするストラックアウトやスタンプラリーなどのイベント。早め会場にきて挑戦する子どももいて、歓声が冬空に響いていた。午後からはあいにく雨と重なったが、心塾スピーチ講座



座の宮本潤子講師が駆けつけ、きねを振るう場面も。今回も日野市にある社会福祉法人「東京光の家」の最後まで弾んでいた。

もちをつく宮本講師



目の不自由な人たちを招待。訪れた15人をサポートし、師走の一日を楽しんでもらった。

資源ごみの回収で資金集めをした杉山和矢実行委員長ら塾生と住民との会話は

"つどい"保護者の声



命。一つひとつ、問題を乗り越えていきたいと思います。せつなく知り合った母と合いたいと思います。

◆初めてディズニールランドへ行って楽しかったです。子どもたちも喜んでいました。子どもたちが、働きたし、今度のはわたくしを連れてくると言ってくれたので、また楽しみな増えました。

◆初めてディズニールランドへ行って楽しかったです。子どもたちも喜んでいました。子どもたちが、働きたし、今度のはわたくしを連れてくると言ってくれたので、また楽しみな増えました。

◆分科会では、同じ境遇の方々の話を聞かせていただき、これからの参考になりました。このような機会を与えてくださり感謝しています。2日目のディズニールランドは終日楽しむことができました。パレードが感動的でした。

◆分科会では、同じ境遇の方々の話を聞かせていただき、これからの参考になりました。このような機会を与えてくださり感謝しています。2日目のディズニールランドは終日楽しむことができました。パレードが感動的でした。

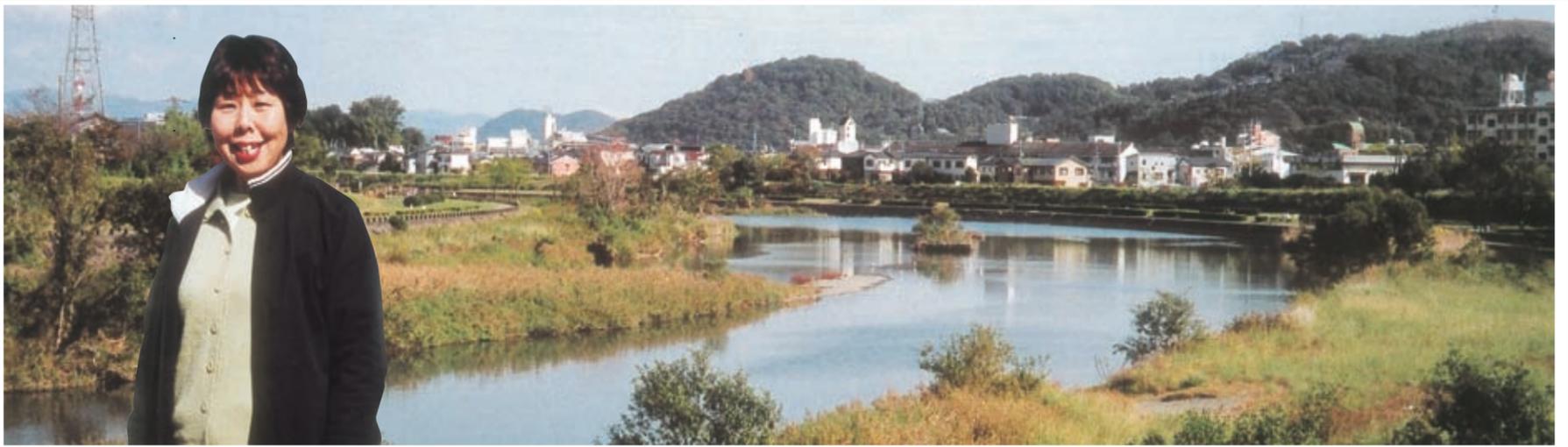
◆家族で東京に招いてい... たいと思います。年に1回、各地区でこのような懇談会を開催していただきたいと思... います。

◆分科会では、同じ境遇の方々の話を聞かせていただき、これからの参考になりました。このような機会を与えてくださり感謝しています。2日目のディズニールランドは終日楽しむことができました。パレードが感動的でした。

◆分科会では、同じ境遇の方々の話を聞かせていただき、これからの参考になりました。このような機会を与えてくださり感謝しています。2日目のディズニールランドは終日楽しむことができました。パレードが感動的でした。

◆分科会では、同じ境遇の方々の話を聞かせていただき、これからの参考になりました。このような機会を与えてくださり感謝しています。2日目のディズニールランドは終日楽しむことができました。パレードが感動的でした。

◆分科会では、同じ境遇の方々の話を聞かせていただき、これからの参考になりました。このような機会を与えてくださり感謝しています。2日目のディズニールランドは終日楽しむことができました。パレードが感動的でした。



お母さんただいま奮闘中

高知市 兵頭 幸子さん

底冷えのする東京を飛び立った全日空563便は、1時間15分の穏やかなフライトで高知竜馬空港に到着した。晩秋の南国土佐は透き通るような青空の下、心地よい風が流れていた。連絡バスでソテツの並木道を抜けて国道55号へ。

西へ約40分走り、高知の中心街でバスを降り、「ほりまや橋」のたもとで約束の時間に、奨学生のお母さん・兵頭幸子さん(52)と会った。お母さんはこの町でホームヘルパーとしていきいきと働いていた。



エビチリの下ごしらえ

お年寄りや障害者の支援、ホームヘルパー

ホームヘルパー2級の資格を持つお母さんが登録している訪問介護事業所は、腰を痛めているお母さん格を持つお母さんが登録している訪問介護事業所は、力仕事の身体介護はせず、生活援助だけを担当している。お母さんの11月第3週の訪問先は延べ9軒(本社・高知市、小原俊治取締役)。この事業所には68人の登録ヘルパーがいる。1組で、みんな65〜87歳の3〜4人1組のグループをつくり、各人が決められた時間に高齢者や障害者の自宅を訪問。身体介護や生活援助をしている。

買い物から調理、掃除 ゴミ出しまで生活援助

お母さんの訪問先の生活援助の内容は、買い物、調理、配膳、食器洗いと片づけ、部屋・浴室・トイレの掃除(掃除機と拭き掃除)、ゴミ出し、ディケアの支度の手伝いなど、訪問先によってさまざま。11月17日(木)、お母さんの生活援助を、夕方4時から、見せてもらった。訪問先は、ご近所の吉川さん(男性、87)。

プールの半袖ボロシャツのユニホームに紺のジャージで身仕度を整えたお母さんは、手提げバッグを手に、定刻5分前、吉川さんのアパートを訪問した。貸与の電動車がすある



バイクに乗って、さあ訪問



お母さんが描いた絵手紙



ストレス解消にテニスへ

「いまは生活と仕事、それに趣味に追われているが、子どもが大学を卒業したら趣味だけでゆつくりしたいな。そうなるまでボケるかもしれないけど、さりげなく本音を言うお母さん。その願いがかなえられる日も新しい年を迎えるたびに、一歩ずつ近づいている。

玄関先で、お母さんは明るい声で「こんにちは!」と小さな声から「はい」と小さなじつくり煮込む。おいしそうな匂いが部屋に漂う。小皿にとって吉川さんに味ききしてもらった。「上等」満足そうに一言。

お母さんの顔を見るなり「薬局の薬が合わなくて、し」

「水は多めにして」の声に、「はい」と答え、笑顔で電気釜に仕掛ける。食器を洗い、調理の後片づけをし、連絡帳「ケアサポート日報」を付け、この日の仕事は終わった。

「相手の気心を知るの大切ですが、この仕事に就いて6カ月、まだよちよち歩きです。きょうの吉川さん」

「何でこんな目に」今は楽しく趣味仲間と

「いまは生活と仕事、それに趣味に追われているが、子どもが大学を卒業したら趣味だけでゆつくりしたいな。そうなるまでボケるかもしれないけど、さりげなく本音を言うお母さん。その願いがかなえられる日も新しい年を迎えるたびに、一歩ずつ近づいている。

「冷蔵庫を開けますよ」と声掛けして、食材を見たあと、吉川さん注文のシチュー、魚の煮つけ、エビチリを、本日の料理として作ることになった。冷蔵庫の中には賞味期限きりきりの食品があったので伝えると、「おい」との返事。

「相手がの気心を知るの大切ですが、この仕事に就いて6カ月、まだよちよち歩きです。きょうの吉川さん」

「失礼します。寒くなり中へいりな話をする。相づちを打ちながら、忙しく手を動かして、やがてエビチリ完成。

「ほかの人に迷惑がかかるから」と、休みも取らないほどで、誠実な人柄にも好感を抱いた。パレスタインに、ベストを編んでプレゼントしたが、何の連絡もなかった。紹介者の友達に「お付き合いやめようかな」といったら、義男さんから「忙しかったから、ごめん」と電話が来た。

「お父さんがほしいけん」お父さんどうしておらんが」と聞かれ、答えに詰まった。

「お父さんがほしいけん」お父さんどうしておらんが」と聞かれ、答えに詰まった。

「シチューのお味はいかが」

「お母さん学生奮闘 美しかった流れ星」



お母さんに感謝する吉川さん



お母さんに感謝する吉川さん

級の資格が取れたときは本当にうれしかった。学園の仲間が、若い人から高齢者までいたが、自分が一番年上だった。学ぶのは楽しく、苦しくはなかった。お母さんと夫の義男さんの出合いは友達紹介だった。当時、お母さんは出版関係の事務の仕事、義男さんはスーパー勤めをしていた。仕事の帰りに何回か喫茶店で会って、話が盛り上がり、山上の正蓮寺へ「ハレーン星」を観察に行っていた。美しい流れ星を見ながら胸がときめいた。「ほかの人に迷惑がかかるから」と、休みも取らないほどで、誠実な人柄にも好感を抱いた。パレスタインに、ベストを編んでプレゼントしたが、何の連絡もなかった。紹介者の友達に「お付き合いやめようかな」といったら、義男さんから「忙しかったから、ごめん」と電話が来た。

